

2021年度 慶應義塾大学 一般選抜
経済学部 地理歴史（日本史） 出題意図と解答欄 A 解答

<出題意図>

問題はすべて、主として近代から現代において生じた出来事に関する正確な知識にくわえて、それらを時間的な流れと空間的な繋がりの中で理解できているか、因果関係を論理的に整理して理解できているかを問うものである。

Iは、対馬の歴史を手がかりに、近世・近代における日本と近隣諸地域との関係を問う問題であり、より広い地域の動きの中で日本の歴史を捉える力を測定することを意図している。

IIは、議事機関・立法機関およびそれらの機関における議事の記録を題材とした近代史の問題であり、近代日本の政治や社会に関する深い理解力を問うものである。

IIIは、沖縄の歴史を手がかりに、近世から現代にいたるまでの日本の政治・経済・文化・国際関係を多面的にあつかっている。それらに関する正確な知識とその応用力にくわえて、Iと同様に、日本史をより広い地域の動きのなかに位置づける力も問うている。

<解答欄 A 解答>

I

問1 (1) 1 3 2 4

(2) 3

問3 a. 6 b. 4 c. 5

問5 a. 3 b. 2 c. 1

II

問6 a. 3 b. 2 c. 6

問7 (2) 1

問8 (3) a. 1 b. 3 c. 4

問9 (1) 3

III

問11 a. 3 b. 5

問13 (1) 6

問14 a. 0 b. 2 c. 5 d. 1

問15 (1) 2

(2) a. 1 b. 5 c. 2

以上